

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	プログラミングⅢ
科目基礎情報					
科目番号	0097		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	舞鶴高専m o o d l eにて授業内容に関する資料を提供する。				
担当教員	仲川 力				
到達目標					
1 与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。 2 プロシージャ（または、関数、サブルーチンなど）の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。 3 ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使い、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。 4 ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使い、生成したロードモジュールの動作を確認できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して問題なく記述できる。		与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できる。		与えられた簡単な問題に対してそれを解決するためのソースプログラムを、標準的な開発ツールや開発環境を利用して記述できない。
評価項目2	プロシージャ（または、関数、サブルーチンなど）の概念を十分に理解し、これらを含むプログラムを問題なく記述できる。		プロシージャ（または、関数、サブルーチンなど）の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。		プロシージャ（または、関数、サブルーチンなど）の概念を理解していなかったり、これらを含むプログラムを記述できない。
評価項目3	ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を十分に使いこなし、ソースプログラムをロードモジュールに変換して問題なく実行できる。		ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使い、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行できる。		ソフトウェア生成に利用される標準的なツールや環境を使うことができなかったり、ソースプログラムをロードモジュールに変換して実行することができない。
評価項目4	ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを十分に使いこなし、生成したロードモジュールの動作を問題なく確認できる。		ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使い、生成したロードモジュールの動作を確認できる。		ソフトウェア開発の現場において標準的とされるツールを使うことができなかったり、生成したロードモジュールの動作を確認できない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (H)					
教育方法等					
概要	この授業ではC++言語について学習する。また、HTMLとPHPについて学習し、静的・動的なWebページの作成について学習する。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 ・ Moodleにて授業内容に関する資料を提供する。 【学習方法】 ・ 分からないことがあれば質問すること。				
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 定期試験の成績（60％）と受講状況や演習の提出状況（40％）を総合的に判断して評価する。定期試験の時間は50分とする。到達目標の各項目の到達度を評価基準とする。 【備考】 遠隔授業ではオンラインコンパイラとしてPaiza.ioとして使用する。ホームページ設置するサーバーを用意するので、そこにHTMLファイルとPHPファイルを転送して演習を行う。 【教員の連絡先】 研 究 室 S棟3階 内線電話 8958 e-mail: chikaアットマークmaizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること。）				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明、Visual C++の使い方	1	
		2週	C言語とC++言語の違い(入出力ストリーム)	1	
		3週	C言語とC++言語の違い(変数宣言の位置,スコープ演算子)	1	
		4週	C言語とC++言語の違い(キャスト,同名の関数)	1	
		5週	動的配列	2	
		6週	class(定義)	2	
		7週	class(プライベートメンバ)	2	
		8週	class(再利用と継承)	2	
	4thQ	9週	HTML プログラミング：HTMLの基礎とデータ転送方法	3, 4	

		10週	HTMLプログラミング：文字の装飾，リンク，画像の添付	3， 4
		11週	Webプログラミング（PHP：その1）	3， 4
		12週	Webプログラミング（PHP：その2）	3， 4
		13週	課題演習	3， 4
		14週	課題演習	3， 4
		15週	課題演習，C++解説	3， 4
		16週	（15週目の後に期末試験を実施） 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0